新春のあいさつ

社会福祉法人
大崎市社会福祉協議会
会長　森谷尚生

新年あけましておめでとうございます。皆様にはよき新年をお迎えになられたことと、お喜び申し上げます。

昨年は当社会福祉協議会にとりましては画期的な年でありました。大崎市の合併より遅れること三ヶ月後の七月一日、大崎市社会福祉協議会が誕生し、市民の皆様方の温かいご支援・ご協力を賜り、地域に密着した地域福祉サービスの展開が出来るよう組織体制の整備に努めてまいりました。

平成十九年の新しい年にあたり、大崎市社協としては、これまでのサービス提供は勿論のこと、目まぐるしく移り変わる介護サービス等の制度改正の趣旨を踏まえ、多様化する福祉ニーズを的確に把握しながら、広域的なエリアの隅々まで柔軟かつ、きめ細やかな福祉サービスを提供するために、役職員一丸となって取り組んでまいります。

また、市民の皆様と直接ふれ合うことの多い各支所と本所が緊密な連携を取りながら、それぞれの支所でこれまで実施してきた伝統ある事業の継続強化を図り、新たな事業も取り入れ、大崎市全域にわたって調和の取れた福祉活動を推進し、市民福祉の向上の一助となるよう努めてまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、新春のごあいさつといたします。

受賞おめでとうございます

平成十八年十月十六日（月）に仙台国際センターを会場に「第二回みやぎ福祉大会」及び、平成十八年十一月十五日（水）に大崎市民会館を会場に「大崎市古川シルバーフェスティバル」がそれぞれ開催されました。

同席上では、永年の功績をたたえて多くの方々の表彰が行われました。受賞された方々おめでとうございました。

（敬称略）

第二回 みやぎ福祉大会

（宮城県社会福祉協議会主催）

宮城県社会福祉協議会会長表彰

◆表彰状

民生委員児童委員功労者

熊谷弘江
佐々木美樹子
柴田久子
中村和男
福原俊悦
鈴木とし子

社会福祉協議会役職員功労者

菅股彰信

ボランティア功労団体

松山ボランティア活動連絡協議会

（大崎市社会福祉協議会推薦者のみ掲載）

大崎市古川シルバーフェスティバル

（大崎市社会福祉協議会古川支所事業）

感謝状

◆社会福祉功労

株式会社古川美装社
代表取締役　狩野壽一
遠藤金也・豊島哲
宮城県美容業生活衛生同業組合
山内美恵子・齋藤恵美子

◆社会福祉協議会役職員功労

菅原忠男・永塚正子
小玉順子・赤坂玲子
佐々木盛夫・伊藤守弘
氏家幹夫・佐々木直一

表彰状

◆社会福祉協議会役職員功労

遠藤敏榮・齋藤富郎
村田時夫・青沼きく江
鎌田　衛・三田經雄
菅原源吉・坂井忠孝
会田征子・鈴木俊夫
米城夏江・森知家良
木村邦道・樋口美光
鹿野信治

平成十八年度 福祉作文・ポスター・標語コンクール入選作品

大崎市社会福祉協議会主催

大崎市社会福祉協議会主催の平成十八年度福祉作文・ポスター・標語コンクールを開催し、このほど入選作品が決まりました。今回は鹿島台支所・岩出山支所・鳴子支所からたくさんの応募がありました。入選された方々をご紹介いたします。

（敬称略）

鹿島台支所

作文の部

〔小学校部門〕

最優秀賞
鹿島台小学校　六年　相澤　悠人

優秀賞
鹿島台小学校　二年　ささきこうすけ
鹿島台小学校　四年　三浦　留衣
鹿島台小学校　六年　伊藤　駿

〔中学校部門〕

最優秀賞
鹿島台中学校　三年　三保野真子

優秀賞
鹿島台中学校　一年　本間　奈々
鹿島台中学校　一年　沢尻　貴則
鹿島台中学校　二年　鈴木　朋恵
鹿島台中学校　二年　内海　愛理
鹿島台中学校　二年　川名　亮
鹿島台中学校　三年　後藤　宏樹
鹿島台中学校　三年　佐藤　翔汰
鹿島台中学校　三年　吉村　亮毅

ポスターの部

優秀賞
鹿島台小学校　一年　植木　千智
鹿島台小学校　二年　小野寺諒馬

標語の部

最優秀賞
鹿島台第二小学校　五年　阿部　稜

優秀賞
鹿島台第二小学校　五年　大條　瑞希

岩出山支所

作文の部

〔小学校部門〕

最優秀賞
上野目小学校　六年　白井　優菜

優秀賞
岩出山小学校　六年　齋藤　楓

ポスターの部

最優秀賞
池月小学校　一年　青砥　大雅

優秀賞
池月小学校　六年　森　可澄

標語の部

優秀賞
上野目小学校　六年　白井　優菜

鳴子支所

作文の部

〔小学校部門〕

最優秀賞
中山小学校　五年　森　彩香

優秀賞
鳴子小学校　六年　高橋　果夢
鬼首小学校　六年　高橋　麻里

〔中学校部門〕

優秀賞
鳴子中学校　三年　高橋　奈々

標語の部

最優秀賞
川渡小学校　六年　中鉢魁三郎

優秀賞
川渡小学校　六年　黒沼沙也加

ポスターの部　最優秀賞
池月小学校　１年　青砥　大雅

災害ボランティアセンター体制整備訓練実施

11月９日大崎市田尻沼部公民館敷地内の体育館を会場に、災害ボランティアセンター体制整備訓練を実施しました。

大地震などこれから起こるであろう災害に備え、近隣社協やボランティア団体、行政と連携して、災害が起きた後、ボランティア活動の拠点として、被災住民のニーズを把握し、ボランティア募集から受付、人員の配置、救援活動、活動報告までの一連の流れをボランティアを受け入れるスタッフ側とボランティアする側の両側に分かれ訓練を行いました。

災害はいつ起こるかわかりません。大崎市社協では、災害時における被災者支援のための体制整備を進めています。